

重点施策 1 1 活力あふれる公民館活動の推進

【施策方針】

生涯学習社会の期待に応えるため、時代や地域住民のニーズに応じた必要課題についての学習機会を提供し、生涯学習に関する情報収集と発信に努める。

生涯学習に関する関係機関・団体と緊密に連携することにより、地域活動の核となり、コーディネーターの機能を発揮するとともに住民が気軽に立ち寄れる身近な交流の場、学習の場を提供し、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実
- ② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実
- ③ 公民館施設の修繕・備品の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実

中央公民館（保内別館を含む）も出席した地区公民館主事部会を毎月 1 回、館長主事合同会を年 3 回開催し、公民館活動の発展に寄与することを目的に公民館相互の連絡調整・情報交換を行った。

公民館職員としての資質の向上を図るため先進的公民館を訪問し研修を行ったり、各種大会に参加したり、毎年 1 月には公民館研究大会を開催したりと日々研鑽を積み、地元地区の活動に生かしている。

（＊令和 2 年度はコロナ感染対策のため研究大会は中止とした。）

② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実

中央公民館（保内別館を含む）において、生涯学習教室（パッチワーク、陶芸、健康体操、ヨガ、硬式テニス、さんきら自然講座、パン・お菓子、八幡浜タウンツーリズムパートⅡ、茶道、ヘルシークッキング、習字、パソコン、デジカメ写真）を開催したところ 192 名の受講者があった。

また、各種団体・サークル活動による中央公民館（保内別館を含む）の利用者は年間 26,693 名あり、地域住民の身近な交流の場、生涯学習活動の場として有効利用が図られた。

③ 公民館施設の修繕・備品の充実

各地区公民館・自治公民館の現状、緊急性、必要性等を考慮し、限られた予算の中で施設の整備充実を図っている。

【事務事業点検評価委員意見】

○ 中央公民館における各種学習教室の受講及び利用者は多く、有効に活用できていることは、大変素晴らしいことである。

ただ、大きい事業が新型コロナウイルス感染症拡大により、中止せざるを得なかったことは残念である。第6波へと続く可能性が高いと思われるので、次年度へ向け工夫を凝らし、事業が滞らないよう準備・計画の支援をお願いしたい。

○ 地区公民館の役員等の成り手不足について、次に繋がるリーダーの育成を支援していただきたい。

【自己評価】

○ 中央公民館で開催している生涯学習教室については、利用者のニーズ等を把握し、より一層の学習機会が提供できるように努めたい。

○ 主事研修及び主事補研修を年1回実施している。今後も充実ある研修会を実施し、育成に努めたい。(令和2年度及び令和3年度は、コロナ感染対策のため研修会を中止している)